



# A Thousand Cranes

# 音楽劇 穎子と千羽鶴

2012年夏、蝉しぐれの中で上演された朗読劇「禎子と千羽鶴」を、今回は早春の旧小坂邸でオーボエとギターの演奏とともに上演いたします。真夏の朗読劇とは違った音楽劇「禎子と千羽鶴」をお楽しみください。



**上演日：2014年3月22日（土）**

**時 間：14時～16時（13時30分開場）**

**入場料：無 料（お申し込みは必要ありません）**

**定 員：約50名**

※観覧ご希望が多数の場合には、先着順とさせていただきます。  
満員の場合、入場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

**場 所：世田谷区立瀬田四丁目広場**

◇ヴォイスワークショップ（どなたでもご参加いただけます）

今回も岡本在住の女優・演出家である登坂倫子さんの指導で「ヴォイスワークショップ」を開催します。「ヴォイスワークショップ」は、どなたでもご参加いただけ、毎日が楽しくなる心身を調整するワークショップです。開催日時などの詳細は随時ホームページや瀬田四丁目広場掲示板にてお知らせいたします。参加費は無料です。

せたよんフィールドミュージアムホームページ <http://www.re-forest.com/seta4/>

## CAST

登坂倫子・tomoca(オーボエ)・Kawol(ギター)  
末廣 好男・上月 里恵子・関口 沙也乃・川崎 逸晟・松村 拓・金野 美香里

## ■ 禎子と千羽鶴 ■

広島で被ばくし、12歳で亡くなった折鶴の少女「佐々木禎子さん」の実話をもとに、平和・友情・希望・勇気をテーマに描かれたアメリカの子ども劇です。女優であり演出家である登坂倫子さんは、在米中にこの劇と出会い、2003年11月から2004年5月まで、米国で13回上演、総勢1,000人の子ども達を無料招待しました。帰国後、脚色を加えて音楽劇とし、砧南小学校、上祖師谷中学校など各地で上演しています。



禎子さんをモデルにした「原爆の子の像」  
広島市平和記念公園



### 登坂倫子 (女優／演出家／演劇ヴォイス講師)

元宝塚歌劇団星組。1995～2005年アメリカ滞在中に女優、演出家として活躍。ロサンゼルスのステラアドラー・アカデミー演劇学校を卒業。2006年日本初のリンクレイターヴォイスクラスと、ステラアドラー演劇のクラスを開始。子どもの英語劇・子ども劇などを指導。現在、奈良橋陽子主催UPSヴォイス講師、スタジオあんしん主宰。瀬田4丁目広場では、朗読劇「禎子と千羽鶴」(2012年)、「葉桜」(2013年)を上演し好評を博している。著書に「アートオブヴォイス」「宝塚」(現代書館)



### tomoca(オーボエ)

桐朋学園大学音楽学部卒業後、ジャズミュージシャンに手ほどきをうけインプロビゼーションを学び模索。2001年よりライブ活動をはじめ、2005年CDデビュー。オーボエの即興パフォーマンス等で国内ではパイオニア的存在であり、新聞や雑誌でも度々紹介されている。近年は年間の1/3ほどをバリ島で活動中。アジアの空気感を含んだ楽曲を製作。



### Kawol(ギター)

アラブ古典音楽を求め、1989年以降、チュニジア等にてスタジアム、劇場でのコンサート、国営TV番組等に出演。帰国後はギタリスト、アレンジャー、作詞家として活動。作曲家として、映画のサウンドトラック等も手がける。1997年にインディペンデントレーベル「PLAKA for EARDRUM」を立ち上げ、2000年にはベーシスト越智泰彦氏とユニット“KOOKS”結成。2004年からは、ギターと声を軸にしたソロライヴシリーズ“kawol's harmonic motion”を展開している。

#### 【開催場所】

世田谷区立瀬田四丁目広場（旧小坂邸）  
東京都世田谷区瀬田4-41-21

■ 東急田園都市線「二子玉川駅」よりバスをご利用の場合  
成育医療センター行き「玉31」または美術館行き「玉32」  
「日産玉川病院」下車、徒歩2分

■ 小田急線「成城学園前駅」よりバスをご利用の場合  
二子玉川駅行き「玉07」  
「吉沢」下車、徒歩7～8分

※駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

※自転車をご来場の方は、正門前広場を駐輪場としてご利用いただけます。



#### 【お問い合わせ】

株式会社森林再生システム内 瀬田四丁目広場利活用検討ワークショップ事務局  
電話：03-5491-8244 E-mail：s.nakanishi@re-forest.com 担当：中西

主催：世田谷区みどりとみず政策担当部 公園緑地課／瀬田四丁目広場利活用検討ワークショップ

協力：せたぽん・せたがや水辺の楽校